

令和三年度 岐阜県歴史資料館古文書講座 第一講座 翻刻

史料一 文久二年九月十日付 岩田鋏三郎書状

- ① 以剪紙致啓上候、秋冷之砌弥御安泰被成
- ② 御勤珍重奉存候、然者近年之内
- ③ 御上洛御内意被仰渡候二付、右御用取扱
- ④ 被仰付、難有仕合奉存候、御掛之儀御用中
- ⑤ 万端宜被仰合可被下候、右之段可得貴意如此
- ⑥ 御座候、以上、

九月十日

岩田鋏三郎

小堀数馬様

石原清一郎様

史料二 文久二年九月十日付 岩田鋏三郎書状

- ① 以剪紙致啓上候、秋冷之砌各様弥御安泰
- ② 被成御勤珍重存候、然者近年之内
- ③ 御上洛御内意被仰渡候二付、右御用取扱被仰付、
- ④ 難有仕合奉存候、御相懸之儀殊二御在府ニモ
- ⑤ 候間、御用中万端宜被仰合可被下候、右御頼
- ⑥ 可得貴意如此御座候、以上、

九月十日

岩田鋏三郎

竹垣三右衛門様

荒井清兵衛様

佐々井半十郎様

史料三 文久二年十月二十三日付 岩田鋏三郎書状

- ① 以剪紙致啓上候、寒冷之節御座候処、弥御安泰被成
- ② 御勤珍重奉存候、然者
- ③ 御上洛御用取扱掛場之儀、在府同役共最初取計
- ④ 伺者、拙者儀御地御賄御相掛之積候処、其後御勘定所二而談有之、東海道池鯉鮒宿方佐屋宿御渡船迄
- ⑤ 持場之積之再伺相成、多分右之趣を以御下知可有之間、
- ⑥ 為心得早々可申越旨竹垣三右衛門方留主居之者江申聞候段
- ⑦ 申越候二付、此程木村董平通行之砌面会承合候処、同人
- ⑧ 江戸表出立之頃者未治定不相成、近々三右衛門罷登候節
- ⑩ 承合候様申聞候儀二而、追々役々上京も有之旁為御打合、
- ⑪ 手附・手代共差出、拙者儀も追々上京御打合可申心得之処、
- ⑫ 何分掛場御下知も無之二付、追々延引打過候儀二御座候、其内
- ⑬ 御下知有之候ハ、御打合旁早々手附・手代共差出可申候間、
- ⑭ 此段兼而御承知被置候様致度奉存候、右之段可得
- ⑮ 貴意如此御座候、以上、

十月廿三日

岩田鋏三郎

小堀数馬様